

平成30年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースB日程入学試験

民事系科目

時間 13:00～15:00

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあったら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で5枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～5の5つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、120分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の5問、問題1から問題5にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

問題1

Aは、甲土地を所有しその上に乙建物を建てて、家族と共に暮らしていた。ところが、Aは、老親の介護費用を捻出するためにBから200万円を借りて、Bの要請に従って甲土地にBのために抵当権を設定した(抵当権の設定登記済)。その後、Aの勤めている会社が倒産したため、Aは失職してしまった。そこで、Aは、やむなく乙建物をCに売却して、家族と共にアパートに引っ越した。その際、AC間では甲土地の賃貸借契約が結ばれた。

ところで、Aは、乙建物の売却代金をBへの借金の返済に充てずに、ギャンブルに使ってしまった。そのため、その後はBへの借金の返済が滞るようになり、期限を過ぎても全く返済されない状態が続いた。

そこで、Bは、甲土地に設定してある抵当権の実行を申し立て、競売の結果、Dが甲土地を買い受けた。Dは、甲土地上に賃貸マンションを建てるべく、Cに対して乙建物の取去と甲土地の明渡しを請求した。

Dの請求に対して、Cは、法定地上権を主張することができるであろうか。

問題2

譲渡禁止特約が付された指名債権が譲渡された場合に、譲受人が譲渡禁止特約の存在について善意であるときと悪意であるときとで、どのような違いが生じるか説明しなさい。

さらに、譲受人が悪意の場合に債務者が譲渡を承諾したときにはどうなるかについても説明しなさい。ただし、現行民法に基づいて解答すること。

問題3

「特定の相続人に特定の財産を相続させる」旨の遺言の法的性質について、論じなさい。

問題4

行使条件に反した新株予約権の行使により発行された株式の効力について、論じなさい。

問題5

過去の法律関係の確認を求める訴えの適法性について、具体例を挙げて論じなさい。